

R1. 11. 12除雪作業出動式を開催

滋賀国道事務所では、除雪作業を迅速に行う決意と、安全に対する意識の向上を図ることを目的に、11月12日(火)に国道161号今津スノーステーション(高島市今津町)において、除雪作業出動式を開催しました。

出動式では、森本事務所長より関係機関と連携し安全で円滑な交通確保を目指し事務所・出張所・受注者が一丸となった雪害対策に取り組もうと訓示を行いました。来賓として高島警察署長をお招きした他、事務所職員及び管内の除雪作業受注者など約30名が参加し、地域の信頼に応える決意を新たにしました。

出動式の前後には、今冬の気象予測についての勉強会、除雪作業者の災害対策基本法に基づく立ち往生車両の移動訓練及びスノープラウ(排雪板)脱着訓練を実施し作業手順などの確認を行い冬本番に備えました。



【事務所長訓示と列席者】



【除雪機械出動】



【藤井高島警察署長のご挨拶】



【スタック車両移動 実施手順の確認】

朝日新聞(13日朝刊25面)

本格的な除雪シーズン直前に、国土交通省滋賀国道事務所は12日、高島市今津町の国道161号今津スノーステーションで、除雪車の出動式をした。

事務所は管内を走る国道1、8、21、161号の計243キロの除雪を担い、除雪車など88台を供し、委託した6社が雪害対策期間(今年20日～来年3月25日)中に除雪にあたるとの日は事務所職員ら6社の社員(約30名)が参加

立ち往生した車両を除雪車で牽引したり、排雪板を装着したりする訓練をした。森本和典所長は「牽引などは車の通行を確保する上で重要。訓練を現場で生かしてほしい」と話した。

今季は今年から来年1月にかけて、気温は平年並みや高く寒気の影響は受けにくい状況が続く見込み。ただ周期的に寒気が流れ込み、降雪をもたらすという。

(松浦実)

排雪板を取り付ける訓練をする作業員らー高島市今津町今津



冬に備え除雪車の訓練

高島で国道事務所職員ら

京都新聞(13日朝刊22面)

各本番を前に、滋賀161号沿いにある国道事務所は12日、高島市今津町今津のスノーステーションで、除雪作業出動式を行った。

関係者約30人が出席した式典では、森本和典所長が「寒季初めは、除雪車の稼働よりも少ないとの見もある。ストレートを止らせた時、凍結がひどい状況に陥り、安全確保に十分な準備を要する。的確な対応を要する」と話した。

関係者約30人が出席した式典では、森本和典所長が「寒季初めは、除雪車の稼働よりも少ないとの見もある。ストレートを止らせた時、凍結がひどい状況に陥り、安全確保に十分な準備を要する。的確な対応を要する」と話した。

関係者約30人が出席した式典では、森本和典所長が「寒季初めは、除雪車の稼働よりも少ないとの見もある。ストレートを止らせた時、凍結がひどい状況に陥り、安全確保に十分な準備を要する。的確な対応を要する」と話した。

関係者約30人が出席した式典では、森本和典所長が「寒季初めは、除雪車の稼働よりも少ないとの見もある。ストレートを止らせた時、凍結がひどい状況に陥り、安全確保に十分な準備を要する。的確な対応を要する」と話した。

(山本亮)

除雪に向け準備万端

高島 滋賀国道事務所が出動式



滋賀県北部は積雪寒冷地域です

冬用タイヤ、チェーンの準備・早期装着を